

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 山本 眞 輔
 幹事 吉田 玄
 会報委員長 池 森 由 幸

No. 41

率先しよう

LEAD THE WAY

2006~2007年度 RI会長 ウィリアム(ビル)B.ボイド

きょうの例会
 第1184回 平成19年6月12日(火)
 友愛の日

先週の記録
 第1183回 平成19年6月5日(火) 曇

◆“君が代”
 ◆“それでこそロータリー”
 ◆ビジター紹介 1名
 ◆ゲスト紹介 渡邊君ゲスト 秋山 正慶 様
 ◆出席報告
 会員 59 (56) 名 出席 40名
 出席率 71.43 %
 前々回 5月22日 (修正出席率) 96.43%

吉田幹事報告

- 1) 本日例会終了後、今年度・次年度の合同理事役員会を開催致しますので担当の方は芙蓉の間にお集り下さい。
- 2) ロータリーの友6月号・ガバナー月信と2007~2008年度ロータリー手帳が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

山本会長挨拶

女子高生が紺色の制服から一斉に白い制服になる衣替えの季節になり、いよいよ夏本番です。先日曜日、博多から新幹線で名古屋に帰りました。小牧空港から福岡までJALが就航したのでいつもは空路ですがなぜか全便満席で新幹線を楽しみました。窓外、西日本は田植えの真っ最中でした。梅雨がもうそこまで来ております。東海地方もまもなくと思われまます。どうぞ皆さん体調には充分ご留意ください。

本日渡邊君のゲストで秋山正慶様。ビジターは昭和RC杉田等様です。ようこそお越しくださいました、どうぞ時間のゆるすかぎりゆっくりとお過ごし下さい。

今日は6月の第1回例会です。会長挨拶もあと二回を残すのみとなりました。皆さんのご支援ご協力に感謝を申し上げます。

さて先週、「私の一点」という美術理解への「入り口」の話を致しました。大変興味をもっていただき多くの方から意見や質問がありました。その中から「お前の一点」はなにか、というのがありましたので今日は私の「私の一点」を申し上げます。それは「秋篠寺技藝天像」です。秋篠寺は京都から近鉄特急で30分、「大和 西大寺」で下車、駅からすぐです。奈良時代のすえ、780ころ光仁天皇の勅願によって建立され、薬師如来を本尊とするお寺です。技藝天像もこの寺の創建のころ、ほかの多くの仏像と共に造顕されたものと思われまます。しかしその後、平安時代の末、1135年、兵火のために金堂などが焼失した際、この技藝天像も首部を残し、胴体が大きく破損しました。鎌倉時代に再び胴体が造られ現在の姿になりました。



首から上は平安時代の「脱活乾漆造」即ち漆で出来ています。胴体は鎌倉時代の木彫り「寄木造」です。共にきわめて写実的な作風をもって全体が統一され、かすかに憂いをおびた表情の優美さと肢体の豊満さと、まれに見る微妙な動きはこの技藝天像の大きな特色といふことが出来ます。サイズは高さ205.6cmです。

技藝天の出自はヒンズー教のシバ神(大自在天王)の髪際から生まれた天女で容姿端麗はもとより、非常に技藝に優れた天女であったということですから。一言でいうなら芸事担当の天女です。今は私の守り神と勝手に決めています。

このように「技藝天像」について話しますと他のご本尊とか脇佛など全部知っていそうな感じがしますが実は他はなにも知りません。「技藝天像」のことだけです。これが作品理解の第一歩です。仏像という大きな世界を見るための私だけの小さな「のぞき窓」と言えます。「私の一点」を申し上げ挨拶とします。

◆ 卓話 “輸入貿易と為替”

会員 川浦 忠君



私の会社は米国、欧州などから産業用自動制御機器の輸入販売を行なっています。それらは海外の電気規格や安全規格に適合したリレー、トランス、スイッチ、タイマー、ケーブル、端子、制御盤、蛍光灯、コネクタ、PLCなど。それらは工作機械・専用機械・ロボット・プレス・各種機器のコントロール部に搭載されます。それによって輸出先の規制をクリアすることが出来ます。この点に私達が輸入した製品を使う理由があるわけです。一方、輸入した商品代金は円ではなく購入先の通貨で決済されます。円を売って外国通貨(USD、EUR、GBP等)を買う必要があります。つまり通過と通貨の交換(両替)、外国為替取引が行なわれます。低金利時代が長く続き資産運用について銀行預金から株式投資、商品先物やオプション取引、マンション経営、不動産投資、外国為替取引などに目を向けるようになりました。特に外国為替取引は貿易会社、海外旅行者、外貨や海外の土地・株式に投資する人、為替ディーラー等によって行なわれています。1998年外為法改正によって生まれた外国為替証拠金取引(FX取引)が注目されるようになりました。FX取引は預け入れたお金(証拠金)を担保に預け入れた金額の何倍、何十倍もの外国為替投資を可能にした金融商品です。外貨預金の欠点を克服し高い投資効率で安定収益、一攫千金どちらでも狙えるのが大きな特徴です。その特徴は外貨預金より手数料が安い、金利が高い、24時間取引が出来る、少ない資金で何十倍もの取引が出来る、円高・円安どちらの局面からでも売り買いの取引が出来る、通貨ペアの数が少ないため専門知識が要らない、リスクをコントロールできるシステムがある等が挙げられます。一方、株取引は42,000銘柄もあるため投資対象を絞り難く高度な専門知識と高額資金が必要です。FX取引は取引の方法と儲け方を身につければこんな面白い投資は他にないのでは。

◆ 卓話 “競走馬用の輸入飼料について”

会員 村瀬和彦君



競走馬用の飼料としては放牧地の青草・乾草・エン麦・配合飼料・その他の栄養添加物等がありますが、その中でも輸入乾草およびエン麦が二大飼料です。日本への輸入乾草の主な種類は北米産チモシーヘイ・アルファルファヘイ・スーダングラス・ライグラス、オーストラリア産オーツヘイ等があり、年間輸入量は約160万トンですが、ほとんどは牛用

(乳牛および肉牛)です。馬用はわずか10万トン程度であり、最高級品のチモシーヘイがその大部分です。従い、今日はチモシーヘイに的を絞り、説明させていただきます。チモシーヘイはヨーロッパを原産地とする牧草で、涼しい気候を好み、日本では北海道に適している作物です。この牧草の最大の特長は栄養素のバランスがとれていると同時にイネ科牧草の中では、最も香りが良く、多くの草食動物に優れた嗜好性を有する多年性の牧草です。今でも北海道で生産されていますが、北米産の方が高品質かつ安定しているとの評価が高まり、現在では北米産が大部分のシェアを占めています。最大の理由は、北海道産が自然条件の気候の下での作物であるのに対し、アメリカ産は夏場降水量が少ない地域で灌漑設備のもと、良質な乾草が生産される環境にあり、またコスト面でも競争力に歴然とした差が出ている為です。チモシーヘイの最大生産地はアメリカ北西海岸のシアトル市から東に170km(車で約2時間)カスケード山脈を越えたキティタスバレー近辺であり、中心地はエレンズバーグ市です。海拔500mで年間降水量250mm、それもほとんどが冬の降雪量であり、夏場は僅かな降雨量の上、常に北西の風が吹いており、乾燥の面からも最高の立地と言えます。また、西部開拓時代、東部からエレンズバーグ市までは鉄道が建設されましたが、その西のカスケード山脈を越える為には馬車が輸送手段であり、多くの馬が集積したという、歴史上の背景も有ります。チモシーヘイの収穫時期は一番刈りが6月後半、二番刈りが8月後半であり、収穫直後には日本から多くのバイヤーが検品の為、現地出張します。検品とはバールにされ、農家の納屋や輸出業者の倉庫に保管されているチモシーヘイを見て廻りますが、通常はバールをほぐし、牧草の色・茎の太さ・葉の多さ・穂の大きさ等をチェックします。馬用の最高級品と牛用の最下級品の間には大きな価格差が有り、売手・買手ともに真剣な作業・交渉となります。最近では、北海道の牧場の獣医師から牧草の成分分析表が求められ、外見のみならず、数値の分析、はたまた実際に牧草を噛んでみて、嗜好性をチェックすることもあり、早朝から暗くなるまでの(暗くなるのは22時ごろ)長時間の検品になります。チモシーヘイは植物検疫対象物であり、かつ、ヘシアンバエ幼虫の混入の危険を回避するため、現地で40フィートコンテナに積み込まれた後、燻蒸(クンジョウ)されます。日本へはコンテナ船にて輸入され、大きな倉庫がある買手にはコンテナごと搬入されますが、コンテナ搬入が無理な場合は輸入港の倉庫に入れ、その後、小口納入します。今後、競馬を見られたりされる場合、これらの馬はアメリカ北西部・ワシントン州・エレンズバーグ産の“チモシーヘイ”を毎日食べているとご想像いただければ、有り難く思います。

◆ ニコボックスは次回掲載致します。

次回例会

平成19年6月26日(火)

最終夜間例会 午後6時

於：松楓閣